墨田区議会

自由民主党会派報

発行
墨田区議会自由民主党
墨田区吾妻橋1－23－20
発行責任者　田中邦友
編集責任者　中沢　進
区議会ホームページ
http://www.city.sumida.tokyo.jp/~kugikai/

教育改革へ確かな歩みを

教育は国家百年の計として取り組まねばなりません。『米百俵』の話にもあるように、将来の日本と郷土のために子供たちによりよい教育を施す努力を絶やしてはいけません。墨田区では学区域の自由化や二学期制の導入、統一学力テストの実施、ティームティーチングや習熟度別授業など多くの改革に取り組んできました。この改革を確かなものにするためには、いまが正念場です。きょうは、地域での実践や議会での議論で長年にわたり活躍をしている**早川幸一**さん、**松野弘子**さん、**坂下修**さん、**出羽邦夫**さんに教育にかける思いを聞いてみました。

水泳指導60年

司会（中沢進広報部長）いまや教育改革も重要な局面に差しかかっていると思います。今日は教育問題にとくに関心の強い方々に集まっていただきました。はじめに早川幸一さん、永年にわたり墨田のこどもたちのために、水泳指導を続けられたと聞きましたが。

早川＝戦前戦後を通じて六十年以上水泳指導をしてきました。日本広しといえども、これほど長い期間、水泳指導をしてきたのは、この私一人ではないかと自負しております。この間、いろいろなことがありましたが、教育問題で思い出すのは学校給食調理業務の民間委託です。反対運動が活発に展開されましたが、結局実施してみれば問題点は何もなく、むしろランチルームの活用など給食の質を高めることができました。学童擁護員（通称みどりのおばさん）の廃止とあわせて、約六百億円の節約となったのは大変な業績です。

早川幸一さん

司会＝いつも若々しくエネルギッシュに活動されている姿は、われわれ後輩のよき模範です。これからもご活躍ください。

食育こそが大事

司会＝松野弘子さんは、先日の本会議で一般質問されましたね。（裏面参照のこと）

松野＝はい、近年、家庭の教育力が極端に落ちて来ているのではないかとの危機感をもっております。そこで『食育』と『こどもの安全』について質問しました。「人に良い」「人を良くする」と読む「食」は、胃袋だけでなく、心も満たし豊かな感性と味覚を育みます。食をしっかりとることがとても大切です。朝の食事をしてこない子供はテストの結果もよくないと統計上にも現れております。家庭でも学校でもしっかりと食育をしていかねばなりません。

松野弘子さん

司会＝女性らしい観点の話ですね。それはとっても大切なことと思います。

さて、坂下修さんは日頃から少年野球に力を注いでおりますが。

スポーツでルールやマナーを

坂下＝墨田区少年野球の会長を務めておりますが、そこで子供たちに一番強く指導しているのは、ルールやマナーを守るということです。今の子供たちは無感動だと言われておりますが、決してそんなことはありません。試合では勝っては涙、負けても涙です。一緒に見に来ている家族ともよいコミュニケーションもとれてますし、スポーツは子供にとってとっても必要なことです。大人たちは、もっと子供が感動するような機会をつくっていかねばなりません。わたしは野球を通じて頑張っていきたいと思っております。

司会＝これからもぜひスポーツを通じて、子供たちに夢と感動を与え続けてください。

出羽邦夫さんも永年、剣道の指導をしてきたと聞いておりますが。

心・技・体の充実を

出羽＝わたしは剣道三段ですが、日本の武道は日常の生活のすべてが修行であると言われております。柔道も一緒ですが、個人競技の剣道では、子供たちには敵は常に自分の中にあると思って、心・技・体の充実を心掛けるよう指導しています。同様に野球やサッカーのような全員が一つの目的に向かって突き進むチームプレーのスポーツも重要です。いずれにしろ、『健全な身体に健全な精神がやどる』と言いますが、体力をつけ、身体を作り、スポーツで発散させることで、勉強にも集中することができると思っております。

出羽邦夫さん

郷土愛を育むために

司会＝なるほど。さて、いま教育改革が盛んに議論されておりますが、とくに重要と思われる点を述べてください。

松野＝わたしは、もっと郷土愛を大切にすべきではないかと思います。例えば、地域の祭りなども宗教色というよりも伝統芸能という面があり、子供たちにもぜひ参加してほしい。それが行われなければ地域文化の継承ができなくなってしまうのではないかと大変心配しております。学校でも先生方が地域の伝統や文化をしっかりと教えてほしいと思います。

出羽＝その教えるべき先生が地域のことをよく知らないと困ります。墨田区に勤める教職員はまず地域を愛してもらうために、校長先生を先頭に地域に溶け込んでいってほしい。教育委員会も教職員が地域のことを知るための研修もしていくべきです。墨田らしい子供たちを育てていってほしいと思います。

国を愛する心を

早川＝郷土愛を育むことは本当に大事なことです。一部の組合活動に熱心な教員が日の丸や君が代を否定し、日本のことを悪い国だとした考えはまことに残念なことです。国を愛する心をぜひ育んでいかねばなりません。東京都も石原都知事になって教育の正常化に本腰を入れておりますが、墨田区もわたしたち自民党が中心になって郷土愛に根ざした真に子供たちのためになる教育をめざしていきます。

司会＝郷土を愛し、国を愛することは当たり前のことです。一部の教員によって学校教育を政治的主張の場にされたのでは子供たちがあまりにもかわいそうですね。

他に何かありませんか。

学校と地域との連携を

坂下＝昨年度から学区域の自由化が行われましたが、いままで子供たちや保護者は先生を選ぶことができなかった。それができるようになって、とくに先生方の大きな意識改革につながったと思います。この自由化でよく地域と学校との関係が薄くなっていくと危惧する声がありますが、それは今まで学校が地域と十分連携していかなかったからでしょう。これからは、もっと地域の学校という意識をもって活動していくことこそ子供たちにとっても必要なことです。

学力向上のために

松野＝そして墨田区の子供たちの学力が低下していることを心配する声が多くあります。墨田区では二学期制を導入して授業時間数を確保したり、習熟度別の授業やティームティーチング（複数の教師による指導）、朝の学習や読書活動、長期休業中の補習など、それぞれの学校ごとに取り組んでいますが、このたび「開発的学力向上プロジェクト」では小・中学校一斉の学力テストを実施しました。今後はこの結果を各学校はどう生かしていくかがとても重要なことです。

出羽＝そう、学校全体でどう取り組むことができるか、学校の教育力の向上につなげていけるのかが問われております。それには教職員の指導力の向上がなにより必要なことです。今年から実施している児童生徒による授業評価は教師の授業力アップに行かせることができればと期待しています。同時に教師同士が授業を評価していくことなど研修を重ね、指導力の向上に努めていただきたいと思います。そして、学力テストの結果を地域に公開していくことはとっても大事なことです。開かれた学校として地域の信頼を得るためにも、ぜひ公開していってほしいと思います。

アシスタント・ティーチャーの導入を

早川＝先般、わたしたちは都内で学力が一番といわれている小金井市を視察してきました。そこでの著しい特長は市内の大学生をボランティアのアシスタント・ティーチャーとして授業の補助に協力してもらっていること、また同様に一般の市民の中の優秀な人材にも協力していただいているという点です。ややもすると学校が閉鎖的になっていると指摘されますが、より開かれたものにしていくべきです。

坂下修さん

坂下＝その意味では三十人以下学級の議論はもはや時代遅れです。ひとつのクラスを一人の担任の教師が何から何まで見るということでなく、学校全体でティームティーチングなどで、教育力を向上させていき、学力向上や健全育成に取り組まねばなりません。もちろん地域の協力や若い学生たちの力も必要となります。登校拒否や引きこもりなどを解決するためにも、すべての教職員が一丸になって取り組むことは当然でしょう。

司会＝さて、ここで皆さんの座右の銘をお聞きしましょう。

早川＝『誠実一路』

松野＝『真・善・美』この三文字の深い意味を考えながら人生を歩んで行きたい。

坂下＝『自利、利他』他人によくすれば、必ず自分に返ってくるという意味です。

出羽＝『貧して鈍せず』どんな苦しいときも品位・姿勢を正すべきだ。

司会＝まだまだ言い尽くせないことがあるでしょうが、この辺で終わりたいと思います。

どうもありがとうございました。

がんばれ　新潟！

新潟中越地震の被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

西原文隆さん藍綬褒章を受章

本年十一月十五日、藍綬褒章を受章され、皇居において、天皇陛下拝謁の栄に浴しました。まことに喜ばしく心からお祝い申し上げます。西原さんはこの受章に際し次のように語っております。

『このたび、はからずも藍綬褒章受章の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。この褒章は、永年ご指導ご支援をいただいた皆様方のお陰様であり、心から感謝申しあげます。このご恩にお報いするために、今後も全力で頑張ります。』

決算委員会で意見開陳

十月二十七日、出羽邦夫さんは、決算特別委員会において平成十五年度一般会計をはじめ五会計の決算について会派を代表して、意見を開陳しました。健全財政をめざして、行財政改革をこれからも断行していくよう、強く迫りました。

会派の視察（15名参加）

十一月十日（水）、江東区の東京スポーツ文化館（PFI事業）と、東京都の統一学力テストで五教科すべての科目でトップであった、小金井市を視察しました。

江東区の東京スポーツ文化館

第4回定例会での質問概要

平成16年11月25日～12月10日

代表質問

樋口敏郎

◉平成十七年度予算編成について

問 会派提出の「平成十七年度予算編成への要望書」「行財政改革実施計画の取り組みに対しての意見書」を踏まえ、区長の基本的な考え方は。

答 三位一体改革の内容によっては区財政への影響も懸念されるので、財政構造の更なる改善に向けて、行財政改革を区政の最重要課題として、積極的に取り組む。

◉押上・業平橋駅周辺地区のまちづくり

問 この地区のまちづくりは、観光を目玉とした、インパクトのある集客施設・大規模な商業・業務施設の計画を考えられないか。

答 約六ヘクタールの広大な用地で、区が単独で大規模な集客施設を整備することは不可能であることから、たとえば、各地域で誘致活動が展開されている「新東京タワー」といった施設に着目してみる必要があると考える。

◉子育て支援について

問 次世代育成行動計画にある今後の待機児童対策として、新設予定の認可保育園の場所、運営方法について、また、精工舎跡地再開発の中の認証保育所誘致の進捗状況、「子育て支援総合センター」、保育園給食調理業務の民託化の内容について伺う。

答 新設する保育園の設置場所は「旧緑図書館跡地」とし、「民設民営」方式で対応する。

精工舎跡地については、三階部分に認証保育所を設ける。「子育て支援センター」は曳舟駅前東第一地区に平成十九年四月に開設をする。

給食調理業務は、十七年度より民間事業者に委託していきたい。

◉教育改革について

問 「開発的学力向上プロジェクト」での学力テストの結果をどのようにしていくのか。絶対評価の導入や民間の活用の考えは。教育委員会としての組織の在り方、支援の在り方は予算措置を含めどのようにするのか。

答 今回の調査について、児童・生徒の実態に応じた授業改善を図る。各家庭に調査結果と今後の指針を個票として返却する。外部評価・授業評価と併せて、教員の授業力向上に生かす。必要な予算措置の確立・実現をしていきたい。

◉他に、特別区制度改革について

一般質問

松野弘子

◉墨田区の教育問題について

問 日本の社会構造のゆがみが、教育立国の教育を危うくしている。教育長として教育基本法の改正が検討されているが見解を問う。

食を通じて「生きる力」を育むことを基本とした食育基本法が国会で検討されているが、教育委員会の取り組みについて伺う。

学校の安全管理について、長期的な取り組みと当面すぐ取り組むべき通学路の安全対策についてどのように考えているのか。

答 日本の社会のあり方や教育を巡る状況も大きく変化している。21世紀を切り拓く心豊かでたくましい日本人を育成していくための理念を明確にすることは必要である。

学校の栄養教育の推進として、家庭や関係機関との連携で「食育」の充実に向けた関係機関との連携で「食育」の充実に向けた取り組みを進めて行きたい。

子供安全管理については、子供を取り巻く環境が悪化しているので、早急に安全対策に取り組むこととしたい。

桜井浩之

◉学校運営協議会について

問 「学校運営協議会」は、開かれた学校づくりを目指す取り組みとして評価できるものである。しかし、本来必要とする、学校から独立した第三者評価機関には成り得ていない。文部科学省の進める外部評価を行うためにも「学校運営協議会制度」を早期導入するべきと考える。

答 現在の「学校評議員制度」での運営協議会では、教育課程の編成や学校運営などに保護者や区民の声が反映され、教職員の意識改革につながったなどの成果をあげており、これを更に充実、発展させたうえで、将来的には、「学校運営協議会制度」の導入を考えたい。

◉錦糸総合体育館建設基本計画について

問 錦糸総合体育館は、東京東部地域の中核となる、副都心錦糸町に相応しい魅力のある体育施設にすべきである。それに応えるべく、今後の予算も含め、最大限の努力を払うべき。

答 区民スポーツ活動の拠点施設としてそのニーズに応えるとともに、東の副都心錦糸町駅前の交通利便性の高い立地条件を生かし、東京の東部地域の中核施設として整備することによって、錦糸町の魅力を高め、墨田区の活性化にも十分寄与できるような施設としたい。また、施設の規模、内容、予算も含め最大限の努力を払う。今後は、区議会や区民の皆様へのパブリックコメントでご意見ご要望をお聞きし、早期建設にむけて努力する。

ご相談は、もよりの議員へお気軽に

阿部　幸男	京島三―五一―一	☎三六一―七一二八四
沖山　仁	京島一―三九―一―九一八	☎三六一―六―〇五〇
木内　清	本所二―九―五	☎三六二四―八二三五
小池　武二	八広六―四―六―五〇六	☎三六一―七―三―八四
坂下　修	向島三―八―一〇	☎三六二六―二五二四
桜井　浩之	立花五―二八―三	レジデンス石原二―一〇 ☎五六三二―七七五七
瀧澤　良仁	墨田五―三三―四	☎三六一―一四〇〇三
田中　邦友	八広一―三九―一七	☎三六一―六―七〇一四
出羽　邦夫	八広四―二―一九	☎三六一―六―五八三四
中沢　進	堤通一―五―九	☎三六二―一―〇七四〇
中嶋　常夫	業平四―五―一六	☎三六二―七八九四
中村　光雄	両国四―七―一〇―四〇三	☎三六三―七八七〇
西原　文隆	押上一―二五―五	☎三六二―九五七〇
早川　幸一	石原三―一九―一	☎三六二―七〇〇八
樋口　敏郎	八広三―六―三	☎三六一―七―四一二九
藤崎よしのり	向島五―四二―三	☎三六二三―〇〇一〇
松野　弘子	墨田三―三〇―七	☎三六一〇―三八六三（五十音順）

編集後記

押上地区に六百メートルを超える新東京タワーができたらと、本定例会で話が出た。台東・足立・豊島区なども誘致の名乗りを上げているが、敷地面積は最低一万平米が必要というから、六万四千平米もある押上地区は他の候補地より広く一番有利だ。

タワーの下には、忠臣蔵で有名な本所松坂町吉良屋敷を再現し、日光江戸村のようなデモンストレーションを展開すれば、きっと全国から何百万人もの観光客が押し寄せる……これ、来年の初夢か？　（中沢　記）